

[2020.11.13]

証券コード：4392 東証一部／福証本則

2020年12月期 第3四半期 決算補足資料



3Q決算のポイント

単位：百万円

	2019年12月期 3Q累計	2020年12月期 3Q累計	前年比	
			増減額	増減率
売上高	6,799	7,821	+1,021	15.0%
情報通信事業	3,364	4,859	+1,495	44.5%
装置等関連事業	3,435	2,961	△473	△13.8%
営業利益	97	△194	△291	—
情報通信事業	328	629	+300	91.4%
装置等関連事業	71	△480	△552	—
調整額	△303	△343	△40	—

3Q決算のポイント

- ▶ 情報通信事業は新型コロナ禍においても好調維持、装置等関連事業が想定以上に悪化

装置等関連事業悪化の要因

- ▶ 米中貿易摩擦や新型コロナの影響等により主力の自動車関連にて設備投資計画の見直し、これに伴う受注案件の減少と価格競争の激化（売上不足と低利益率の受注）
- ▶ 5GやAI、IoTなど需要が見込まれる新分野の開拓受注において赤字案件が発生
※新規開発段階での赤字
- ▶ 同事業は次期よりの業績回復を想定（足元では期ズレした案件も動きは始めている）

業績ハイライト

単位：百万円／下段は売上比

	2019年12月期 3Q累計	2020年12月期 3Q累計	前年比	
			増減額	増減率
売上高	6,799 (100.0%)	7,821 (100.0%)	+1,021	+15.0%
売上総利益	1,628 (23.9%)	1,748 (22.4%)	+120	+7.4%
販売費及び一般管理費	1,530 (22.5%)	1,942 (24.8%)	+412	+26.9%
営業利益	97 (1.4%)	△194 (△2.5%)	△291	—
経常利益	129 (1.9%)	△163 (△2.1%)	△293	—
親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益	40 (0.6%)	△315 (△4.0%)	△355	—

※販売費及び一般管理費の前年比増加はグループ会社追加が主な要因（前期4Qより連結開始）

損益計算書推移（四半期累計）

単位：百万円／下段は売上比

	2019年12月期				2020年12月期			
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
売上高	2,704 (100.0%)	4,711 (100.0%)	6,799 (100.0%)	9,504 (100.0%)	2,518 (100.0%)	5,067 (100.0%)	7,821 (100.0%)	—
売上総利益	734 (27.2%)	1,182 (25.1%)	1,628 (23.9%)	2,232 (23.5%)	580 (23.1%)	1,136 (22.4%)	1,748 (22.4%)	—
営業利益	224 (8.3%)	155 (3.3%)	97 (1.4%)	47 (0.5%)	△60 (△2.4%)	△125 (△2.5%)	△194 (△2.5%)	—
経常利益	232 (8.6%)	188 (4.0%)	129 (1.9%)	73 (0.8%)	△37 (△1.5%)	△102 (△2.0%)	△163 (△2.1%)	—
親会社株主に帰属 する当期（四半 期）純利益	167 (6.2%)	104 (2.2%)	40 (0.6%)	52 (0.6%)	△166 (△6.6%)	△202 (△4.0%)	△315 (△4.0%)	—

セグメント別業績推移

単位：百万円

	2019年12月期					2020年12月期					前年比（3Q累計）	
	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q累計	1Q	2Q	3Q	4Q	3Q累計	増減額	増減率
売上高	2,704	2,006	2,088	2,705	9,504	2,518	2,548	2,754	—	7,821	+1,021	+15.0%
情報通信事業	1,244	986	1,134	1,591	4,955	1,597	1,483	1,778	—	4,859	+1,495	+44.5%
装置等関連事業	1,460	1,020	953	1,113	4,548	920	1,064	976	—	2,961	△473	△13.8%

単位：百万円

	2019年12月期					2020年12月期					前年比（3Q累計）	
	1Q	2Q	3Q	4Q	4Q累計	1Q	2Q	3Q	4Q	3Q累計	増減額	増減率
営業利益	224	△68	△58	△49	47	△60	△65	△68	—	△194	△291	—
情報通信事業	157	46	124	△3	325	179	157	292	—	629	+300	+91.4%
装置等関連事業	148	△4	△71	91	162	△114	△115	△250	—	△480	△552	—
調整額	△81	△110	△110	△137	△441	△124	△107	△110	—	△343	△40	—

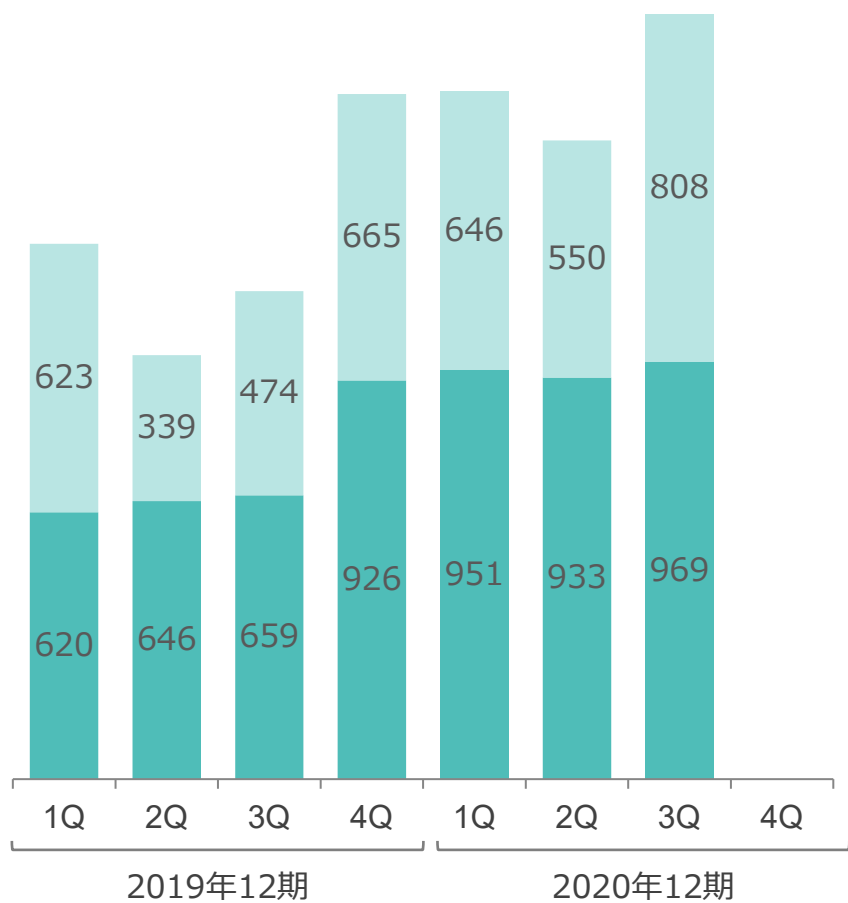
※装置等関連事業の苦戦が継続（次期よりの業績回復を想定）

売上高の四半期別推移

情報通信事業

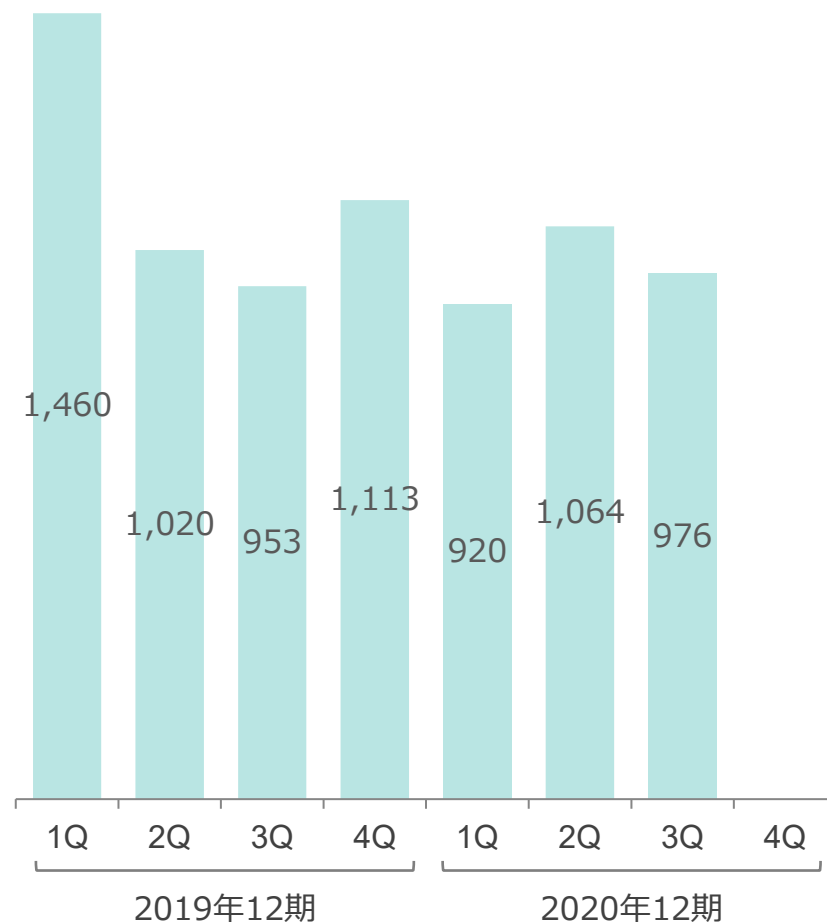
(単位:百万円)

- フロービジネス
- ストックビジネス



装置等関連事業

(単位:百万円)



貸借対照表

単位：百万円／下段は構成比

	2019年12月期末	2020年12月期3Q		主な増減
			増減額	
流動資産	8,450 (64.1%)	8,462 (57.8%)	+ 11	現金及び預金 △418 リース投資資産 +287
固定資産	4,726 (35.9%)	6,169 (42.2%)	+1,442	土地 +268 建設仮勘定 +912 のれん +359
資産合計	13,177 (100%)	14,631 (100%)	+ 1,454	
流動負債	2,796 (21.2%)	3,399 (23.2%)	+ 602	短期借入金 +422 1年内返済予定の長期借入金 +173
固定負債	2,378 (18.0%)	3,521 (24.1%)	+1,143	長期借入金 +1,088
負債合計	5,175 (39.3%)	6,921 (47.3%)	+ 1,746	
純資産	8,002 (60.7%)	7,710 (52.7%)	△291	利益剰余金 △459 自己株式 +114
負債・純資産合計	13,177 (100%)	14,631 (100%)	+ 1,454	

2020年12月期計画に対する進捗率

単位：百万円／下段は売上比

	2020年12月期 3Q実績	2020年12月期計画	
		通期	
		Q3進捗率	
売上高	7,821 (100.0%)	10,000 (100.0%)	78.2%
売上総利益	1,748 (22.4%)	—	—
営業利益	△194 (△2.5%)	0 (—)	—
経常利益	△163 (△2.1%)	0 (—)	—
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	△315 (△4.0%)	0 (—)	—



【 連絡先 】 F I G株式会社 社長室
【 住 所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。